

# 品川支部

令和三年8月1日発行

〒 141-0022

品川区東五反田1-8-5

Tel. 3442-7075

# 8月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 五十七年ぶい東京で オリンピック・パラリンピック

一年延期されたオリンピック・パラリンピックがスタートしました

前開催時は、世間では高速道路・新幹線等、高度成長期を迎え、お道では教祖八十年祭を二年後に控える時期で世の中も誰もが喜び、成長を信じて進めるような時代でした

それに比べて今回は、コロナ禍が一番大きな要因になりましたが、その他にも様々な問題を抱えて、人達の間にも一手ひとつとは言えない状態での開催になりました

その中で勝者敗者の五年間がこもった涙に思いを馳せ努力した選手の為にもなんとか閉会の時には、誰もがやって良かったと言える大会になる様、開催している間は沢山応援したいと思います



※天理教では天理大学が柔道のお世話をするお役を務め、教区でもその一役を担っています

### ☆支部行事のお知らせ

・支部例会八月三十日

本品分教会会場(二頁参照)

・神名流し  
在宅センターひのきしん

緊急事態宣言中で当面中止

・教区ひのきしん

今月は本荘組ですが八月も中止の可能性が高く確認が必要となります

### ☆教務支庁からのお知らせ

・車椅子基金

従来、ご協力いただいております一円玉募金ですが、目的がはっきり限られて参りましたので名称を「車椅子基金」と改めさせて頂く事になりました。尚、皆様のお心添えによりまして、昨年は本部神殿に十三台の軽量で性能が優れた車いすを東京教区から寄贈することが出来ました。今後ともなお一層のご協力をお願い致します

・夏休み子どもひのきしん

昨年に続き「夏の子どもおぢばがえり」が中止になり少年会では「夏休み子どもひのきしん」と銘打って本部で企画されたものに、親も一緒に参加する事で、夏休み中に親子楽しんでひのきしんが出来るようにひのきしんカードにシールが一杯になったら写真を撮って教区少年会ホームページに送ると、もれなく東京教区団より素敵なプレゼントを頂けるという事です。是非参加して楽しい夏休みを家族でお過ごしください

・災救援五十周年

去る六月二十七日「天理教災害救援ひのきしん隊」結成五十年の記念行事が行われた。コロナ禍の中、規模を縮小しての開催でしたが今までの多くの功績を振り返り多くの方からの感謝を受け今後の活動に新たに弾みが付きました

・厚生部より

好評の「ひのきしんスクール」で今回は「現代の家庭問題への理解と寄り添い」をテーマに八月二十六日にオンラインZoomで開設されます。お申し込みはホームページから行いますので是非参加してください

拠点教会	1日号	8日号	15日号は22日号に合併	22日号
日本橋	直送	直送		直送
本荘	直送	直送		直送
都南	直送	直送		直送
三ツ木	直送	直送		直送
水豊田	直送	直送		直送

時報手配り八月予定

# 品川支部例会

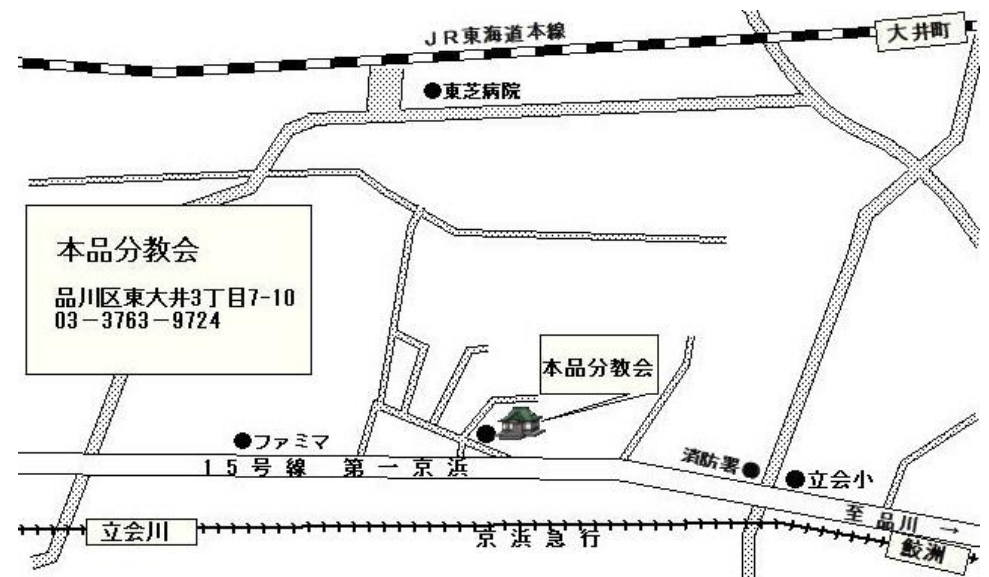
## 令和三年8月30日 (月) 11時開始

### 場所 本品分教会

(品川区東大井3丁目7-10)

### 内容 おつとめよろづよ八首 八下り目 東京教区、支部連絡事項 当該教会長 挨拶 昼食の用意頂いてます

**\*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)**



## 子を育てる

本品分教会



青年会時代の筑波万博が開かれていた時の事であるが合同総会に当時、筑波大学教授の村上和雄先生を記念講演講師としてお招きしました。お話しはソニー創設者の一人、井深大(まさる)氏が力を注がれている幼児教育についてでありました。公演後、自分も第一子がもう直ぐ生まれる事を聞いて頂きまして、後日お話しの中にあつた泉岳寺にある幼児開発協会に出向き、月刊「幼児開発」また、「幼児園」からでは遅すぎる、0歳からの母親作戦」等の本を購入した覚えがあります。

みかぐらうたの二節には夫婦をこのよはじめだしと何より一番の基礎とお示し頂いています。又、四下り目 ニツ ふたりのこころををさめいよ なにかのこころもあらわれる 十一下り目 ニツ ふうふそろうてひのきしん これがだいいちものだねや とあり、おふでさきには ぜんしようのいんねん よせてしうごふする これハマつだいしかとおさまる とあり、

元の理のお話しの中には 親神様はどろ海の中からうを女一の道具として、それぞれに仕込み、男女の雛形と定めいざなぎのみこと、いざなぎのみことと、この男雛形種、女雛形苗代の理に神名を授けられた。そして、うなぎ、かかれい、くろぐつな、ふぐを引き寄せられ、雛形と道具を定めた後、どろ海中のどちよを皆食、べて人間のたねとされた。

月様はいざなぎのみことの内、日様はいざなぎのみことの体内に入り込んで、人間創造の守護を教えられ、三日三夜の間、九億九万九千九百九十九人の胎内に宿し込まれたとお教え頂いている。教典第三章、元の理で教えたように夫婦というものは天地をかたどったものであり、おふでさきに教えていたかのように 月日には人間 はじめかけたのは よふきゆさんがみたい ゆえから 14、25 と、教祖は人間の陽気ぐらしをするのを見て共に樂み相談なされて人間を造り始められたところからお話しを始めたところから始まり、全ての親であり子育ての雛形の親神様は、この元始の真実を世界人類全てに伝え分かせたい、そういう思いからよふきづとめを教え、この世の中にあられ出たのであると目的を明らかにされたのです。

本品分教会長 中澤光郎